



ご挨拶

◇子ども達の成長を共に支えられる学校、家庭、地域に◇

学校教育目標

自ら考え、判断し、心豊かに行動できる子どもの育成

目指す子どもの姿



1. 場に応じた挨拶や行動ができる子ども 2. 友達を大事にし認め合う子ども 3. 粘り強く学び続ける子ども

新年度が始まり、881名の児童と77名の教職員で4月を迎えました。

子ども達は学年が1つ上がっただけで、顔つきや様子が変わり落ち着いた雰囲気です。子ども達の成長には目を見張るものがあります。

さて、21世紀に生きる子ども達に学校現場や家庭、地域が何を目標にすればよいのかを考えてみました。

今まさに激動の時代、先行き不透明な時代と言われています。気候の変動も激しく、自然災害への備えも日常的に意識する時代です。大人から子どもまでが、自身の危機管理と共に、答えのない問題に解決の糸口を見つける力を求められています。また、持続可能な社会の担い手として自身のためだけでなく地球全体、社会全体にも目を向ける必要があります。新しい時代への転換時期に生きているのが今の子ども達であり私達だと言えるのではないのでしょうか。

時代の流れや変化は止まることはなくとも、私達が人間である限り決して一人で社会を担えるものでもなく生きていくこともできません。

自身の命を大切にすると同じように、相手の命や尊厳を大切に考え、共に手を携えながら答えのない問題に立ち向かっていける人間力を発揮していかなければいけないと考えています。

湯田小学校学校教育目標や目指す子どもの姿は、そのような想いを込めてつくられています。

私達教職員は学校目標の具現化のため、子ども達の学びをより充実できるよう日々の授業をはじめ、生活づくりについても保護者の皆様と対話をしていきたいと考えています。

そのためには学校が目指す目標や子どもの姿を共有していただき、ご協力をお願いしたいと思います。

地域の宝である子ども達一人一人のもつ力や人間力を高め、時代をたくましく生きていく素地づくりを学校、保護者、地域の皆様と共に取り組んでいきたいと思っています。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

湯田小学校長 関 知恵子